



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場会社名 株式会社大阪ソーダ 上場取引所 東
 コード番号 4046 URL <http://www.osaka-soda.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 佐藤 存
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 楫野 卓也 (TEL) 06-6110-1560
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	69,090	△8.5	5,201	0.1	5,267	△2.9	3,467	5.1
28年3月期第3四半期	75,505	1.8	5,194	30.9	5,424	17.6	3,299	18.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 4,466百万円(32.4%) 28年3月期第3四半期 3,372百万円(△29.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	32.91	27.31
28年3月期第3四半期	31.31	26.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	99,051	51,706	52.2
28年3月期	97,027	48,296	49.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 51,706百万円 28年3月期 48,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	0.9	6,500	0.9	6,800	5.6	4,300	19.2	40.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年3月期3Q	111,771,671株	28年3月期	111,771,671株
29年3月期3Q	6,425,222株	28年3月期	6,419,632株
29年3月期3Q	105,349,769株	28年3月期3Q	105,357,329株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復基調が続いているものの、中国をはじめとするアジア新興国等の経済の減速や、米国の大統領選挙結果による為替相場の大幅な変動や世界的な保護主義の拡大懸念などもあり、先行き不透明な状況を抱えたまま推移しました。

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、出荷は堅調に推移したものの、為替等の影響により販売単価が下落したことに加え、住宅設備ほかで、収益力強化のための事業構造改革を推進しており、690億9千万円と前年同期比8.5%の減少となりました。利益面においては、機能化学品の拡販により、営業利益は52億1百万円と前年同期比0.1%の増加となりました。経常利益については、為替差損の影響もあり52億6千7百万円と前年同期比2.9%の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億6千7百万円と前年同期比5.1%の増加となりました。

当社グループは、クロール・アルカリおよびアリルクロライド・エピクロロヒドリン事業のコストダウンによる競争力強化、ヘルスケア関連事業と合成樹脂・合成ゴムなどの機能化学品を軸とする高付加価値事業の拡大、および競争力強化のための事業構造改革の推進などに取り組み、環境変化の影響を受けにくい収益体質の構築を図ってまいりました。これにより、売上高では、対前年同期比で減収となりましたが、営業利益では、対前年同期比で増益となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

基礎化学品では、クロール・アルカリは、市況の影響により売上高が減少しました。エピクロロヒドリンは、海外向け輸出は堅調に推移しましたが、為替等の影響により売上高が減少しました。以上の結果、基礎化学品の売上高は302億4千2百万円と前年同期比6.2%の減少となりました。

機能化学品では、医薬品精製材料は、欧州のバイオ医薬品精製用途向け販売が増加したことに加えて、国内向け販売も堅調に推移したことにより、売上高が増加しました。医薬品原薬・中間体は、抗ウイルス薬など開発医薬品の受託製造が堅調に推移し、売上高が増加しました。ダップ樹脂は、UVインキ用途での国内および米国向け輸出が堅調に推移したため、売上高が増加しました。アリエーテル類は、シランカップリング剤用途での中国向け輸出を中心に販売数量は増加しましたが、為替等の影響により販売単価が下落し、売上高が減少しました。エピクロロヒドリンゴム関連は、中国、韓国向け輸出が堅調に推移したため、販売数量は増加しましたが、為替等の影響により販売単価が下落し、売上高が減少しました。以上の結果、機能化学品の売上高は268億2千8百万円と前年同期比3.3%の減少となりました。

住宅設備ほかでは、売上高は120億1千9百万円と前年同期比22.6%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、0.4%減少し569億3千4百万円となりました。これは、主として現金及び預金が25億9千4百万円減少、原材料及び貯蔵品が3億2千7百万円減少、受取手形及び売掛金が19億8千3百万円増加、仕掛品が6億2千5百万円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、5.6%増加し421億1千6百万円となりました。これは、主として投資有価証券が15億8千万円増加、有形固定資産が7億2千7百万円増加したことによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、2.1%増加し990億5千1百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、0.2%増加し307億2千万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が8億6千1百万円増加し、未払法人税等が5億1千4百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、8.0%減少し166億2千3百万円となりました。これは、主として長期借入金16億8千万円減少したことによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて、2.8%減少し473億4千4百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、7.1%増加し517億6百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月10日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,037	9,442
受取手形及び売掛金	27,730	29,714
有価証券	6,999	7,499
商品及び製品	6,163	5,958
仕掛品	1,107	1,733
原材料及び貯蔵品	1,847	1,520
その他	1,252	1,068
貸倒引当金	△1	△3
流動資産合計	57,137	56,934
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	11,098	10,754
その他(純額)	9,259	10,331
有形固定資産合計	20,357	21,085
無形固定資産		
のれん	923	808
その他	269	402
無形固定資産合計	1,192	1,210
投資その他の資産		
投資有価証券	17,154	18,735
その他	1,764	1,650
貸倒引当金	△578	△565
投資その他の資産合計	18,339	19,820
固定資産合計	39,890	42,116
資産合計	97,027	99,051

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,993	13,854
短期借入金	8,880	8,880
1年内返済予定の長期借入金	2,440	2,290
未払法人税等	1,338	824
賞与引当金	709	361
その他	4,307	4,510
流動負債合計	30,669	30,720
固定負債		
新株予約権付社債	10,000	10,000
長期借入金	2,960	1,280
役員退職慰労引当金	533	548
退職給付に係る負債	3,063	3,059
その他	1,505	1,735
固定負債合計	18,062	16,623
負債合計	48,731	47,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,882	10,882
資本剰余金	9,399	9,399
利益剰余金	24,697	27,111
自己株式	△1,666	△1,669
株主資本合計	43,312	45,723
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,500	6,418
繰延ヘッジ損益	△82	7
為替換算調整勘定	45	△7
退職給付に係る調整累計額	△479	△434
その他の包括利益累計額合計	4,983	5,983
純資産合計	48,296	51,706
負債純資産合計	97,027	99,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	75,505	69,090
売上原価	62,041	55,179
売上総利益	13,463	13,910
販売費及び一般管理費	8,269	8,709
営業利益	5,194	5,201
営業外収益		
受取利息	20	21
受取配当金	300	318
その他	36	52
営業外収益合計	357	393
営業外費用		
支払利息	71	48
為替差損	42	259
その他	12	20
営業外費用合計	126	328
経常利益	5,424	5,267
特別利益		
投資有価証券売却益	18	—
特別利益合計	18	—
特別損失		
固定資産除却損	266	410
創立100周年記念費用	216	—
特別損失合計	483	410
税金等調整前四半期純利益	4,960	4,856
法人税、住民税及び事業税	1,392	1,385
法人税等調整額	268	3
法人税等合計	1,661	1,389
四半期純利益	3,299	3,467
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,299	3,467

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	3,299	3,467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85	917
繰延ヘッジ損益	△25	89
為替換算調整勘定	△3	△52
退職給付に係る調整額	16	44
その他の包括利益合計	73	999
四半期包括利益	3,372	4,466
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,372	4,466
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	32,241	27,734	15,529	75,505	—	75,505
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	2	340	360	△360	—
計	32,259	27,736	15,869	75,865	△360	75,505
セグメント利益	1,417	4,380	153	5,950	△756	5,194

(注) 1 セグメント利益の調整額△756百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	30,242	26,828	12,019	69,090	—	69,090
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	15	1,423	1,451	△1,451	—
計	30,254	26,844	13,443	70,541	△1,451	69,090
セグメント利益	1,063	4,686	143	5,893	△691	5,201

(注) 1 セグメント利益の調整額△691百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。